

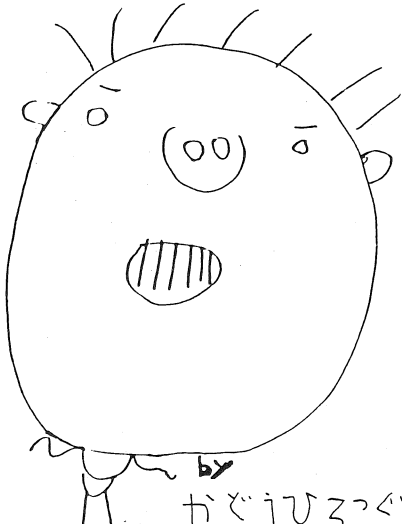
向島の催し、ニュースは
愛隣館研修センターへお
知らせ下さい。

向島・愛隣館研修センター ニュース

社会福祉法人 イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL (075) 621-3849
発行 平田 義一
編集 馬場園 慎一
関川 直子



励ましの言葉を掛けて下さい! (野百合幼稚園で)



by かげひろく

京都きょうだい会合同バザー
10月19日午前11:30
愛隣館研修センター

ボランティア募む

向島に住む「障害」を持つ子供たちとその親たちで作る「あそぼう会」の島崎富子さんがセンターに原稿を寄せてくれました。毎月二回土曜日、午後二時半から愛隣館研修センター一階の野百合幼稚園ホールなどで、会は開かれています。子供たちと一緒に遊んでくれるボランティアの人を会では募集しています。詳しくは、当センターへ。

には数多くの「障害」が重なっている子もいます。その一つでも誰か引き受けてくれたらと思うのは親心ですが、「障害」児が一人でも増えるのは親として望むことではありません。複雑な心持です。時として落ち込んだ心を子供が無邪気な瞳が救ってくれることもあります。一生懸命に生きていく姿に、親の方が教えられることもあります。しかし知恵遅れの子供たちの一生懸命さは、人様にはなかなか伝わりにくいものも聞いています。ですから励ましの言葉を掛けていただいた時は、心が和らぎます。「障害」児の成長は大変ゆつくりですが、「歳月人を守りたぎ」で皆と一緒に年齢を重ねていっています。将来を考えると不安が付きまといますが、もっともっと幸福を肌で感じられるようにたっぷり遊ばせたいと思っています。子供たちが「生まれて来て良かった」と表現してくれる日を信じて！ 幾度かの挫折を経験して、親たちは微力ながら私でなければ育てられないと思いを共に生きる糧にしています。応援して下さい。(2面に関連記事)


あそぼう会

共に育む

「あそぼう会」は一九八四年十一月、野百合幼稚園園長の難波俊子先生の「家に閉じ込められがちな「障害」児のために、幼稚園のホールを利用して下さい」との好意に甘んじて足りました。

向島ニュータウン、高層住宅の谷間で元気に遊ぶ子供たち、砂場遊び、野球、サッカー、ドッジボールに、最近はこの重みを感じたと同時に、「遊び」がいかに高度なことを遊ぶのが流行しているようです。子供たちは遊びを通して「やさしさ」、「思いやり」を学んで行くのであろうが、その中に「障害」児の姿を見掛けるのは極まれです。「障害」児を「人並み」であることの重みを感じたと同時に、「遊び」がいかに高度なことを遊ぶのが流行しているようです。子供たちは遊びを通して「やさしさ」、「思いやり」を学んで行くのであろうが、その中に「障害」児の姿を見掛けるのは極まれです。「障害」児を「人並み」であることの重みを感じたと同時に、「遊び」がいかに高度なことを遊ぶのが流行しているようです。子供たちは遊びを通して「やさしさ」、「思いやり」を学んで行くのであろうが、その中に「障害」児の姿を見掛けるのは極まれです。「障害」はさまざまです。中

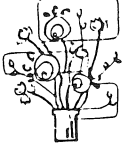
毎週水曜日 ストープス先生と
愛隣館 英語でおしゃべりしよう
研修センター



〈小学生の部〉5:00~7:00 (2クラス)
〈一般の部〉7:00~8:00 (1クラス)
ストープス英語教室 (751) 7764

未生流生花教室生徒募集


場所 愛隣館研修センター
月3回木曜日 6,000円
申し込みは 依藤 (611・4466) へ



愛隣館研修センター

共に育ちあえるつどいの場
貸室・貸ホールやっています。

近鉄向島駅 徒歩5分 ☎075-621-3849





日本キリスト教団世光教会(伏見区桃山町泰長老)教会の小学校キャンプが八月十一日から十三日までの二泊三日、滋賀県・朽木村、朝日の森キャンプ場であり、「あそぼう会」の子供たちも、「健常」児の中に混じり参加しました。写真

「神の国の子供たちー私たちの村を創ろうー」をテーマに、小学三年から六年まで約四十人の子供たちが、竹

朽木村へ キャンプ

あそぼう会も

を集め、小屋を建てたり、木の葉で服やアクセサリーを作ったりしました。キャンプに参加した同教会では愛隣館研修センターでも、毎日午前九時、小学三年から中学三年までを十人が訪れています。

のび先生 の健康教室

健康食品とか自然食とか、健康と食生活の話がよく、新聞などのマスコミに取り上げ

常に関係があります。健康食品とか自然食とか、健康と食生活の話がよく、新聞などのマスコミに取り上げ

▼糖尿病のおそろしき
高血圧が塩分を控えることにより良くなること、また肥満症の治療のためにはカロリ制限が必要なのは誰でも知っています。糖尿病についても、甘いものを食べ過ぎたり、肥満などが発病のきっかけになることが知られています。

しかし、糖尿病という病気の本当のおそろしさは、十分に知られていません。

▼たとえば……
たとえば、五十五歳の男性がフラックを訴えて、病院にいられた。この患者さんはその日の朝、目覚めた時

40歳になれば…

食生活に気を付けて

らフラックに気が付きました。なんとか自転車運動して会



社に出ましたが、いつもと違って目も見えにくかったそう

です。よく話を聞くと、十数年前

に健康診断を受けた時に、尿糖が陽性だから甘いものを控

愛隣館研修センターは九月十二日までに、同センター正

雨の日は階段が滑り、危ない」と、以前から何度も苦情が寄せられていました。今回の設置は、この苦情に応え

に健康診断を受けた時に、尿糖が陽性だから甘いものを控

雨でもOKです。

研修センター

「ムッチャんの詩(うた)」の上映会(京都生協)の丸運

「ムッチャんの詩(うた)」の上映会(京都生協)の丸運

「ムッチャんの詩(うた)」の上映会(京都生協)の丸運

夏休み映画会

「沖縄戦・未来への証言」

沖縄戦記録フィルム「無い方がいいです。誠治君(中学三年) 此の来への証言」の上映会が八月二日、愛隣館研修センターホールでありました。近々の中学生を中心に、約五十人が訪れました。

「ムッチャんの詩(うた)」の上映会(京都生協)の丸運

「ムッチャんの詩(うた)」の上映会(京都生協)の丸運



職員を代表 お礼申し上げます。

「おおきに」
「よろしく頼む」
「今月も赤字」
「世話になるぜ!!」



公的な援助を受けず、苦しい財政運営を続けてきた愛隣館研修センターは、施設の充実と事業拡大のため、今年三月から賛助会員の募集と寄付の受け付けを始めました。九月末までに、賛助会に個人、団体合わせ、約百人の方から申し込みがしつづ集まっています。お礼、申し上げます。

「活動を祈って、苦しい財政運営を続けてきた愛隣館研修センターは、施設の充実と事業拡大のため、今年三月から賛助会員の募集と寄付の受け付けを始めました。九月末までに、賛助会に個人、団体合わせ、約百人の方から申し込みがしつづ集まっています。お礼、申し上げます。

▼酒 肥満
また、十数年より夜起き、水をよく飲むようになりまし

▼長い経過、合併症
そして翌日のCTスキャンで、右の脳に脳血管腫を認めました。血液検査では、血糖は200mg/dlと少し高いだけで、眼底検査では、軽い糖尿病性網膜症がありました。

▼栄養バランス
です。食生活に気を付けることも、とても大切ですが、二年に一度くらい何もなくても成人病検診とか、人間ドックを受けた方が良いでしょう。とくに食生活が良くなっているだけに、栄養過多、あるいは栄養バランスの偏りからくる病気が目立っています。

向島・差別と人権を考える会

毎月第4土曜日 午後7時
愛隣館研修センター

ハングル語講座生徒募集

愛隣館研修センターで、近日開講予定です。初級、会話中心。詳しくは、センターへ。

塾生募集

小・中学生 若干名
英・数・国 週二回
一クラス五名以内の少人数 型式

愛隣館研修センター